

# にしっこ 西っ子のみなさんへ 126 12月16日

アメリカで、史上最悪の竜巻被害が発生しました。日本では、あまり馴染みがない竜巻ですが、アメリカでは毎年のように大きな被害を出しています。

(日本での発生数は年平均25 米国は1300)

しかし、竜巻はふつう4～6月にかけて発生することが多く、11～2月は少ない時期のはずです。この時期の巨大竜巻は珍しく、異常な暖かさがその原因のようです。



今回は、アメリカの東海岸から入ってきた「湿った暖かい空気」と西海岸から入りロッキー山脈を越えてきた乾いた冷たい空気が、内陸部でぶつかり、急激な上昇気流が発生し、巨大な積乱雲「スーパーセル」ができ竜巻になったとニュースは伝えています。その数30～50個。この数だけに注目しても竜巻がとても発生しやすい条件がそろったことが想像できます。

暖かい空気と冷たい空気がぶつかった時、これらの空気は簡単には混ざり合いません。今回のように気温差がある場合、ぶつかると暖かい空気は軽いため上に行きます。逆に冷たい空気は重いので、暖かい空気の下に潜り込みます。すると暖かい空気は激しく上空に押し上げられることになり、激しい上昇気流が生まれ、これに何らかの力が加わり、渦が発生することになります。アメリカで発生する竜巻の85%は左巻きだそうです、15%は右巻きなのだそうです。従って、地球の自転によって生じる(コリオリの)力とは関係はなさそうです。

竜巻は、その通り道が一番被害の出る場所になります。通り道は壊滅的なまでに建物を破壊します。少し横であれば助かることもあります。今回通販大手アマゾンの物流倉庫も被害にありますが、衛星写真に写る3つの巨大倉庫の内の1つ倉庫の半分だけが大きな被害を受けています。どの倉庫のどの場所で働いていたかで明暗を分けることになりました。

また、今回の竜巻の最大移動距離は365kmだそうです。どこまで移動したら弱くなるかは予想することは難しく、とにかく丈夫な建物内で通り過ぎるのを待つしかありませんし、早く消えて無くなるように祈るしかありません。

今回の被害は、12月なのに気温が26℃以上にもなっていたことが原因だと考えられています。日本でいうと「夏日」になります。過去100年の中での最高気温ともなれば、気候変動の影響ということになりそうです。

人間の暮らしが、地球に大きな影響を与えている現在、少しでも自然と調和した暮らしに努めることが、私たちがしなければならないことだと言えます。